

令和8年度 学校経営方針

1 学校教育目標

(1) 基本目標

自立と社会参加を目指し、地域に貢献する生徒を育て、豊かな生活につなげる
(～R7 将来の自立と社会参加に向けて、地域社会の中で活躍する生徒を育てる)

(2) 目指す学校像

「自ら考えて行動し、地域とつながり、感謝と幸せを実感できる学校」

(3) 校訓（目指す生徒像）

【前進】自分を見つめ、自己実現に向けて前向きに取り組む生徒

【意志】自ら考え、判断し、主体的に行動できる生徒

【協調】周囲と協力しながら活動し、社会の一員として関わる生徒

(4) 信頼と安心の学校づくりのために

- ・敬意と感謝に基づく応対を徹底し、生徒・保護者・教職員が笑顔で過ごせる学校づくりを進める。
- ・生徒理解を基盤に、安心して学べる関係づくり（ウェルビーイング）を推進する。

2 学校経営方針

(1) 連携と協働のカリキュラム・マネジメント

ア 各科・学年・コース間の横断連携と、地域・保護者・関係機関との協働で教育課程の編成や改善を行う。

イ 評価と改善のサイクル（計画→実践→評価→改善）を定期的に確認する。

(2) 個別最適な学び、協働的な学びの充実

ア ユニバーサルデザインと合理的配慮で環境を整え、一人一人の学びやすさに配慮した支援を行う。

イ 生徒主体の活動と協働的な学びを両立させ、学びを生活に生かす流れを確認する。

(3) 卒業後を見据えた、切れ目のないキャリア教育・進路支援の充実

ア 進路の見通し→校内外実習→就労→定着までを見通した支援体制を整える。

イ ポートフォリオで強み・成長・役割経験を可視化し、自己効力感を高める。

(4) 地域に根ざした学校づくり

ア 八戸市・鮫町・青森県の地域資源を生かし、学びを地域の貢献につなげる。

イ 地域に貢献する学習を学校の特色として位置づける。

(5) 特別支援教育のセンター的機能の充実

ア 本校の教育活動の情報提供、教育相談、研修の連携を強化し、地域全体の支援力向上に寄与する。

(6) 働き方改革の推進

ア 教職員が効率よく働ける仕組みを検討し、生徒へ向き合う時間を最大化する。

イ 業務と健康を管理しながら、より働きやすい環境の整備に努める。

(7) 安全・安心な学校づくりの推進

- ア 生徒理解に基づき、事故防止と健康・安全を確保した教育環境を整える。
- イ 生徒自身が主体的に命を守る行動ができる防災教育を実施する。
- ウ 教職員・保護者・地域と連携し、安心して学べる学校づくりを進める。

3 重点課題と具体的な取組

(1) 生徒が主体的に取り組む魅力ある授業づくり（実践力）

- ア 学ぶ楽しさを感じ、主体的に学ぼうとする意識を育てる。
- イ 学びの目標を明確にし、やり遂げる経験を積み重ねる。
- ウ 振り返りを通して、次への改善につなげる力を育む。
- エ コミュニケーション力を高め、人との関わりを通して道徳性を育てる。
- オ 体験学習とICTの効果的活用で、学びを生活に生かせるよう支える。

(2) 障がいの特性や新たな学習内容・方法に対応した研修の推進（対応力）

- ア 障がい特性の理解を深め、専門性を高める。
- イ 社会情勢や時代のニーズに対応した学習活動の在り方を検討する。
- ウ 校内外の研修成果を共有し、教育活動に活用する。

(3) 一貫性のあるキャリア教育と進路支援（伴走力）

- ア 各科・各コースの発達段階に応じてキャリア教育を充実させる。
- イ 保護者・地域等への進路情報を適時提供する。
- ウ 生徒の実態に応じて、柔軟かつ確実に進路実現を支える。

(4) 地域社会への理解促進（発信力）

- ア 学校とPTAが連携・協力した奉仕活動や体験活動を充実させる。
- イ 地域の学校との交流および共同学習（学校間交流）を積極的に実施する。
- ウ 特別支援教育の取組を、学校だより・ホームページ・SNS等の情報媒体で積極的に発信する。

(5) 協力体制が発揮できる学校づくり（組織力）

- ア AI等のツールを活用した授業や業務改善で、教育活動に充てる時間を創出する。
- イ 良好な人間関係の構築に向けたコミュニケーションを充実させる。
- ウ 互いに助け合い、支え合える職場づくりを進める。
- エ 迅速な報・連・相がなされる体制を整える。
- オ 産業医等の外部専門家を活用し、健康やメンタルヘルスへの対応をする。

4 人間力向上への取組（基本的生活習慣と基本行動の確立）

- (1) 自ら健康を維持・管理しようとする力を育てる。（生活リズム・運動・休養の確保、食事管理等の自己管理）
- (2) 挨拶と感謝を言葉と行動で表現できる生徒を育てる。（人との関わり基礎づくり）
- (3) 学習規律の徹底（時間を意識した行動、よい姿勢、整理整頓など、日々の積み重ねを大切にす）。（社会的ルールの理解と順守）
- (4) 途中で諦めず、最後までやり抜く力を育てる。（責任感）
- (5) 自分で考え、自分で解決する力を育てる。（問題解決力）
- (6) 全ての活動の質を高め、自己肯定感・自己有用感を育てる。（自己成長）